

2013年
6月1日
No.166

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24
浦谷貞子 気付
さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

近畿地協第5回常任幹事会

要求と運動に確信と展望を広げる「学習教育活動」

5月25日、近畿地協第5回常任幹事会が大阪国労会館で開かれ、近畿各地から19人が集まりました。さざなみネットからは山崎書記長が参加しました。

- ・ミニ学習会が、福井事務局長の指導で持たれました。「学習の友」を参考にして「組合運営と活動の充実ー職場の宣伝活動、学習と要求ー」「企業の利潤の源泉とは何かー資本主義経済社会の基礎理論ー」「勸奨退職の撃退法ー『辞めません』』と語り続けることが大事です」(下記「辞めないための10カ条」)について学びました。学習教育活動は、要求と運動に確信と展望を広げます。今後も続けていくことを確認しました。
- ・金融労連中央執行委員・金融ユニオン中央執行委員・近畿地協事務局・各単組支部分会が、前回会議以降の活動報告をしました。

(議案)

- ・2013年春闘について(省略)
- ・組織拡大月間について
成果や拡大計画などについて話し合いました。新入行職員の組織化について具体的に討議しました。



岩波 美智子さん 画

- ・当面の課題
6月7日～8日、大阪で開かれる「金融労連全国学習交流集会」への参加者などについて相談、若年層を

中心に積極的に参加者を募ることを確認しました。

- ・機関紙の編集
各単組から積極的に原稿を応募し、事務局で編集することを確認しました。
- 橋下大阪市長・維新の会共同代表による「慰安婦制度は必要」との暴言に対する抗議はがきの郵送の提案があり、多くの仲間が「わたしのひとこと」を記入の上、早速提出しました。
(上記 抗議はがきが付いていたチラシ、裏面 全労連の談話「大阪橋下市長の『慰安婦発言』に抗議し、発言の撤回と謝罪、すべての公職からの辞任を求める」)



辞めないための10カ条

1993年2月23日に全労連が発表したもの。最近退職勧奨の相談が多くなっています。退職を迫られた時、「お役立てください。」

- ① 辞めません
- ② やっぱり「辞めません」
- ③ 退職強要には、きっぱり抗議を
- ④ 人権じゅうりんには嚴重に抗議を
- ⑤ 出向、配転、転籍も断りましょう
- ⑥ 会社よりも自分の生活が大変
- ⑦ おだてにのらずに謙虚に拒否を
- ⑧ 家族は首切りに反対です
- ⑨ 最後は黙秘でもがんばりましょう
- ⑩ 労働組合や労働弁護士に相談しよう

【談話】橋下大阪市長の「慰安婦発言」に抗議し、発言の撤回と謝罪、すべての公職からの辞任を強く求める

橋下大阪市長（日本維新の会共同代表）は5月13日の記者会見で、旧日本軍の「従軍慰安婦制度」について、「（それが）必要なのは誰だってわかる」などと正当化する発言を行った。

橋下市長は、その暴言への批判が強まった同日夕方、沖縄に駐留する米軍海兵隊の司令官に「もっと風俗業を活用してほしい」と奨めたことも明らかにした。

さらに、自らのツイッターで、「世界各国の軍が軍人の性的欲求の解消策を講じていたのは事実」、「韓国女性を拉致して強制的に売春させた証拠がない」などと、自説を繰り返して居直っている。



これらの点からして、橋下市長の「慰安婦制度発言」などは失言ではなく、同氏の歴史観や人権意識のレベルを反映する持論を述べたものだと考える。

憲法第97条を引くまでもなく、個人の尊厳を基礎においた基本的人権の尊重とその発展をめざすことは、「人類の多年にわたる努力の成果」を後世に引き継ぐため、現在を生きる者に課せられた責務である。特に、市長や公党の党首という公職に就く者は、歴史の事実と真摯に向き合い、今の人権感覚で歴史を検証し、基本的人権を前進、発展させる責務を強く負っている。

橋下市長はこれまで、「慰安婦」問題について「強制連行」の事実をゆがめるなどの暴言を繰り返してきた。

今回はさらに踏み込み、日本政府の従来の見解（村山談話や河野談話）を否定し、日本軍がおかした犯罪行為を免罪する立場に立っていることを表明した。「慰安婦制度」のような女性の尊厳を全面否定する犯罪行為が、軍隊では今日でも容認されると言う特異な主張も行っている。

そのような発言が、日本の侵略戦争によって塗炭の苦しみをなめた中国、韓国などの人々を苦しめ、米軍の性犯罪によって被害を受けた人々に耐え難い苦痛を与えることは想像に難くない。買春を肯定するかの発言は、すべての女性の人格と尊厳を踏みにじるものである。

これらの点からして、橋下氏の発言は、大阪市長や日本の政治家としての資質、資格が問われなければならない重大なものである。

全労連は、橋下市長の発言を断じて容認することはできない。満身の怒りを込めて断固抗議し、発言の撤回と謝罪、および大阪市長などすべての公職からの即時辞任を強く求める。

なお、日本維新の会の石原慎太郎共同代表が、「軍と売春はつきもの」などとし、同党の松井一郎幹事長（大阪府知事）が「本音で解決するために言った」との認識を示すなど、橋下氏の発言と居直りの姿勢を擁護していることには驚きを禁じえない。

これらの日本維新の会幹部の発言は、同党の歴史認識の偏向や、人権意識の欠落を示すものである。橋下氏と同様、公党としての責務と存在が問われるべきものであり、併せて、強い抗議の意思を表明する。

2013年5月15日

全国労働組合総連合
事務局長 小田川義和

仏手柑

永観堂にお詣りしてきました。永観堂は「見返り阿弥陀」ともみじて有名な浄土宗西山禅林寺派の総本山です。東山を背景に阿弥陀堂をはじめとする古い建築が、緑と水に恵まれた庭に調和し、人も少なく静かなひとときを過ごさせていただきました。帰りに売店によったら、見たことのない果実（左の写真）が置いてありました。

インド原産の果実で、その形が仏の合掌されている手に似ているところから、「仏手柑」と呼ばれ、国内の一部でわずかな量が生産されている貴重な果実とのことです。

「聖果実 仏手柑 長寿飴」が売ってありました。

「仏手柑は、神経を鎮め体内の毒素を出すとわれ、古来より漢方として珍重されております。高貴な芳香を持つ、この稀なる果実からつくりました」と説明があり、帰りの電車の中で香り豊かで

甘酸っぱい美味しうたたきまし

